CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

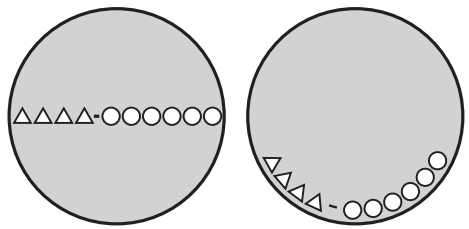
シチズンのホームページ（http://citizen.jp/）でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。
右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために―必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、***3***、***4***、***58***～***69***ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠**危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠**警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠**注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

高度測定について

この時計の高度測定機能は、公的機関などで認定された計測専門の機器ではありません。表示される高度は目安としてお使いください。

⚠警告	以下のような場合、この時計の高度測定機能を使用しないでください。 ・危険をともなう行動や状況判断が必要な場合 ・スカイダイビングやハンググライダーなど、短時間で大きく高度が変化する場合 ・ダイビングなど水中で使用する場合 ・その他、特殊な取り扱いをする場合
⚠注意	以下のような場合、計測が正しく行われないことがあります。 ・急激な気温の変化があった場合 ・気象条件の変化により、気圧変動が大きい場合 ・気圧が一定に管理されている場所（飛行機の機内など）で使用する場合

方位測定について

この時計の方位測定機能は、公的機関などで認定された計測専門の機器ではありません。表示される方位は目安としてお使いください。

⚠警告	以下のような場合、この時計の方位測定機能を使用しないでください。 • 危険をともなう行動や状況判断が必要な場合
⚠注意	以下のような場合、計測が正しく行われないことがあります。 • 時計が水平に保たれていない場合 • 周辺の磁場が乱れている場合 • 急激な温度変化があった場合 • 鉄筋コンクリートや鉄製のものに囲まれている場合 • 電線や電車、電気製品が周囲にある場合

時計を保管するときは

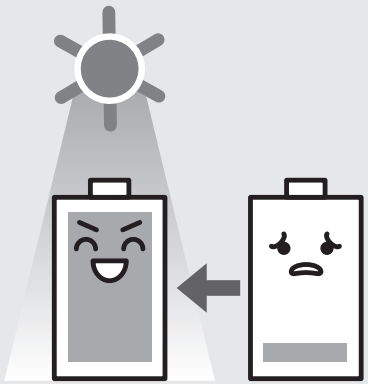
この時計を保管するときは、強い磁気を発するものの近くや場所を避けてください。

ご使用になる前に

開封後、時計をご使用になる前に、必ず次のことを行ってください。

● 秒針が1秒ごとに動いているか確認する

秒針が2秒ごとに動いているときは、充電が必要です。



この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については***12***～***17***ページをご覧ください。

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）

バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

保護シールについて

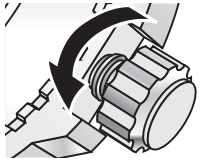
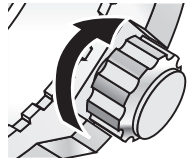
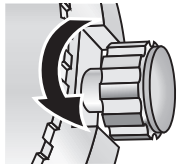
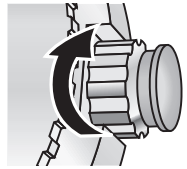
時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

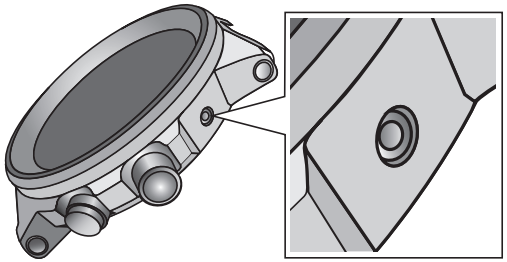
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタン



ボタンを押すときは、つまようじのような先の細いもので押してください。

・ 金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

この時計の特長

高度測定
気圧センサーで気圧を測り、高度を表示します。

方位測定
内蔵の磁気センサーで地磁気を測り、方位を示します。

エコ・ドライブ(光発電)
光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。

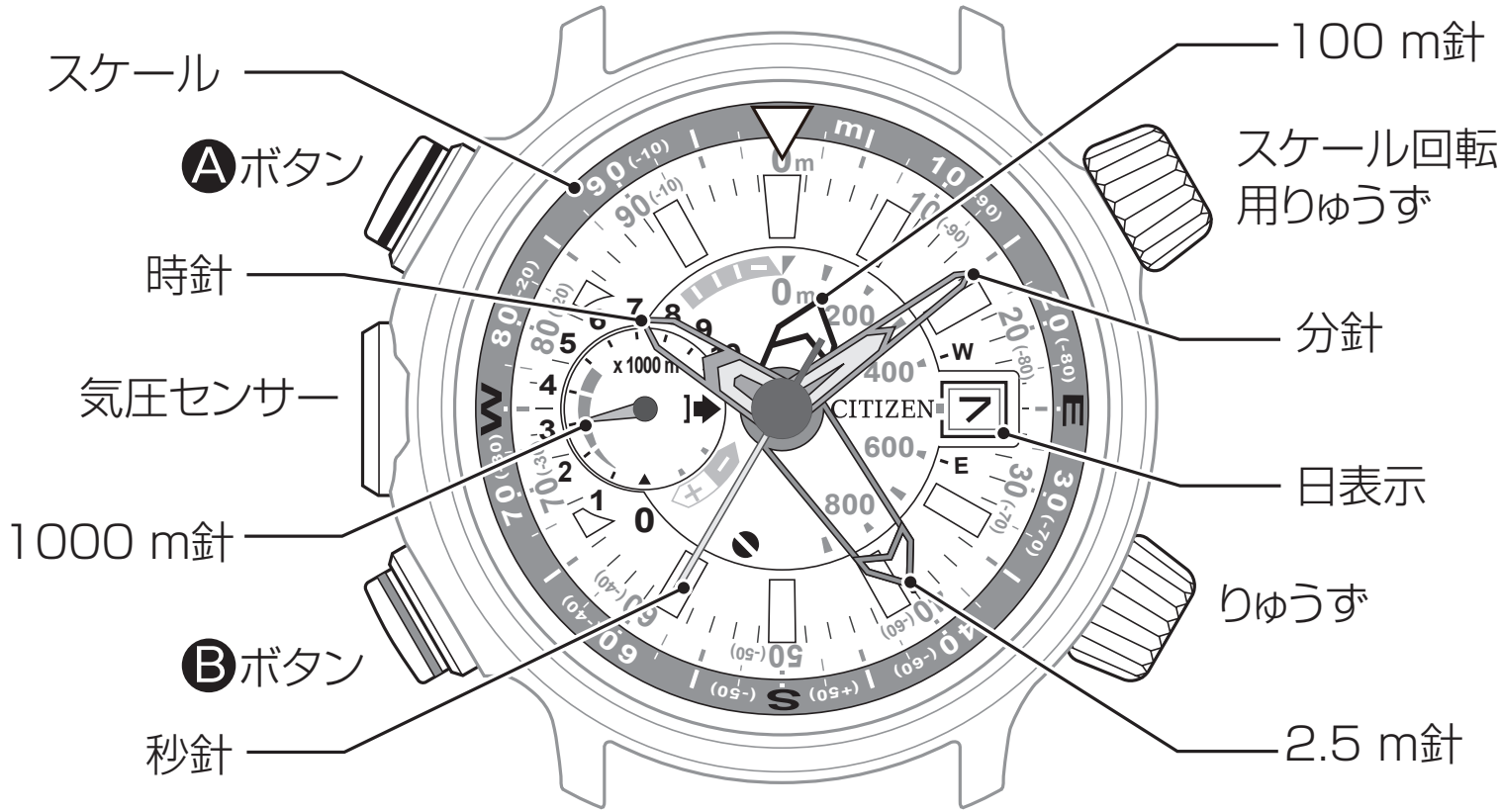
* 「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

もくじ

各部の名称(高度測定時) . 10
各部の名称(方位測定時) . 11
充電について 12
現在の充電量を確認する . 16
高度をはかる 18
方位をはかる 24
時刻を合わせる 26
カレンダーを合わせる..... 27

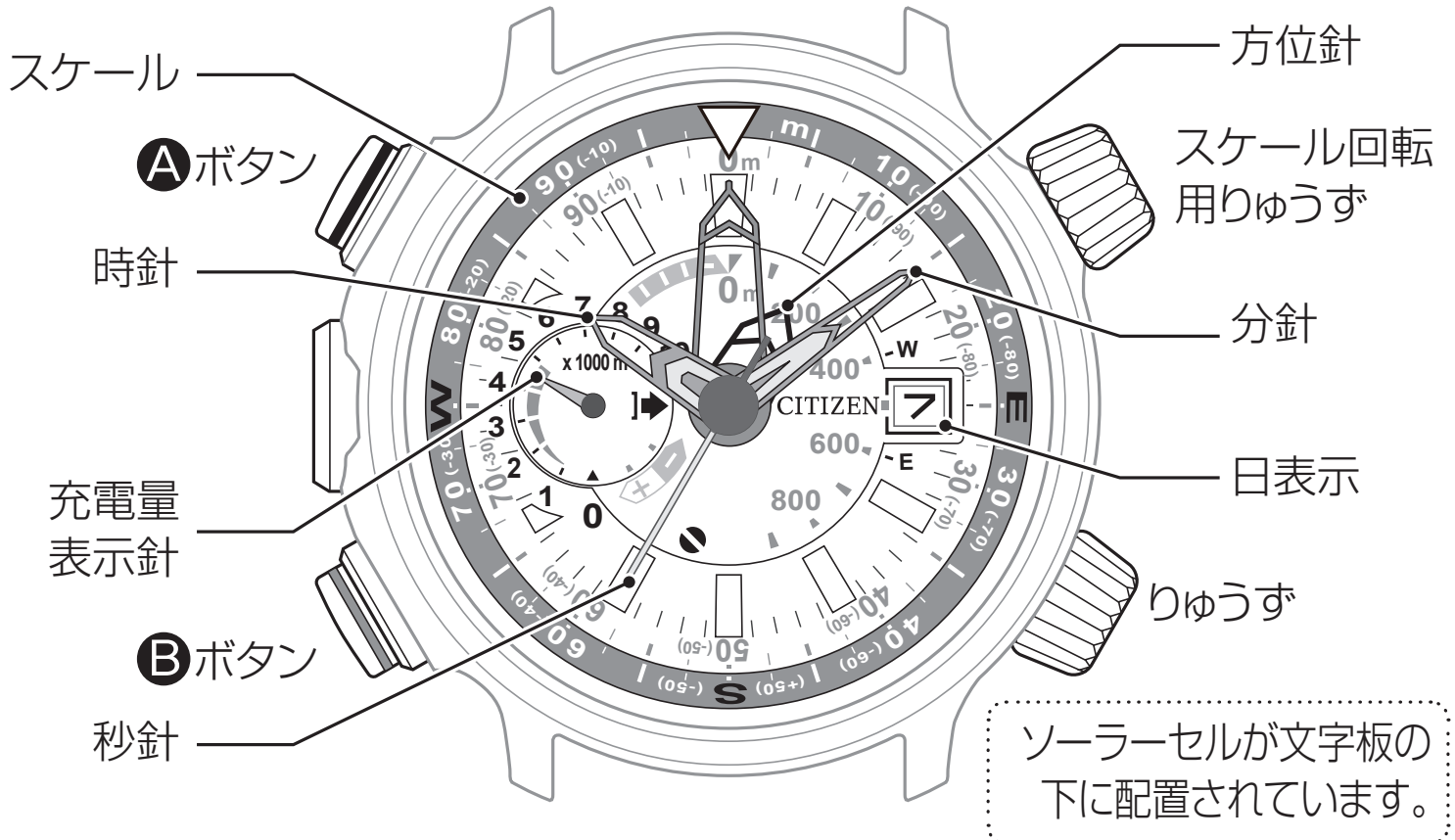
高度表示を補正する.....28
方位表示を補正する.....32
基準位置を確認・
修正する.....44
スケールの使いかた.....48
困ったときは.....50
エコ・ドライブ(光発電)
取り扱い上の注意.....58
防水性能について.....60
お取り扱いにあたって.....62
その他の情報.....70
保証とアフターサービスに
ついて.....74
製品仕様.....76
修理・保証についての
お問い合わせ.....78

各部の名称(高度測定時)



- モデルによっては、スケールとスケール回転用りゅうずが付いていない場合があります。

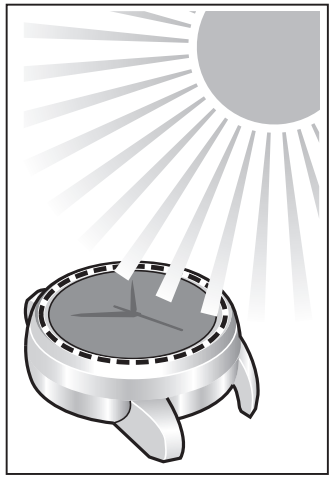
各部の名称(方位測定時)



ソーラーセルが文字板の
下に配置されています。

- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

充電について



この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。

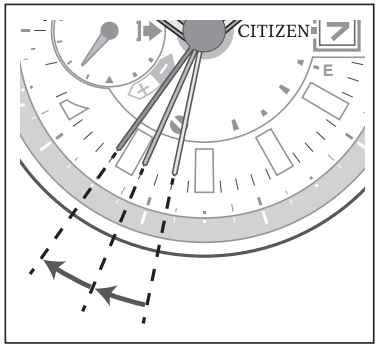
時計を太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、次のように充電すると、快適にご使用いただけます。

- 月に一度は直射日光に当てて、5～6時間充電する
- 光の当たらない場所での長期保管を避ける

注意

- 高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。
- 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

充電不足になると(充電警告機能)



充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。文字板に光を当てて充電してください。

- しばらく充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が4日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

注意

- 2秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。測定機能は使用できません。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

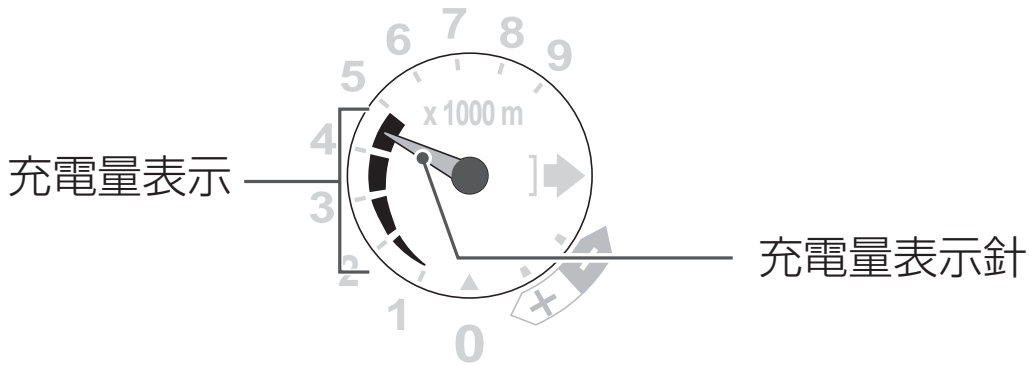
環境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	3分	2時間	35時間
屋外（曇天）	10,000	12分	3.5時間	90時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	8時間	290時間
屋内照明	500	4時間	50時間	−

- **直射日光での充電をおすすめします。**蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで
およそ11ヵ月間使用できます。

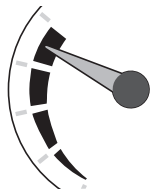
現在の充電量を確認する

充電量表示(充電量表示針)



- 高度の測定中(*18*ページ)や補正中(*28*ページ)は、充電量が表示されません。

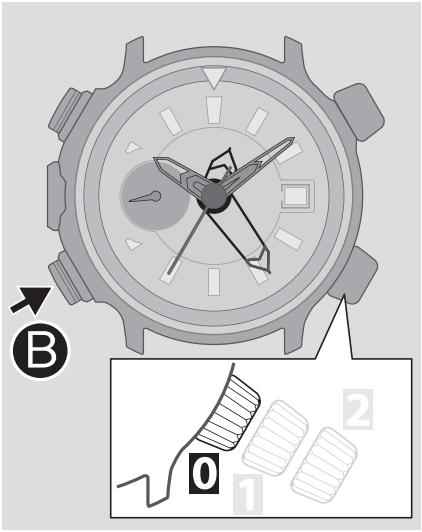
充電量表示の見かた

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	340日～280日	280日～180日	180日～4日	4日以下
表示の意味	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電不足です。まもなく充電警告が始まります。
	安心してお使いいただけるレベルです。		**すぐに充電してください。**	

※ 充電量レベルが「0」のときは、測定機能は使用できません。ただし、時刻は表示されます。また、測定機能を頻繁に使用すると、持続時間は短くなります。

高度をはかる

- 測定結果は目安としてお使いください。
- 精度の高い測定が必要な場合は、市販の専用機器をご利用ください。
- 測定の前に充電量レベルが「2」以上であるかどうか確認してください。



1 Ⓑ ボタンを押す

高度が表示されます。

- 高度表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまでお待ちください。
- 高度表示中にⒶボタンを押すと、100 m針が一時的に方位を示します(→*24*ページ)。Ⓐボタンを押すと高度表示に戻ります。

2 測定終了後、Ⓑ ボタンを押して終了する

高度測定について

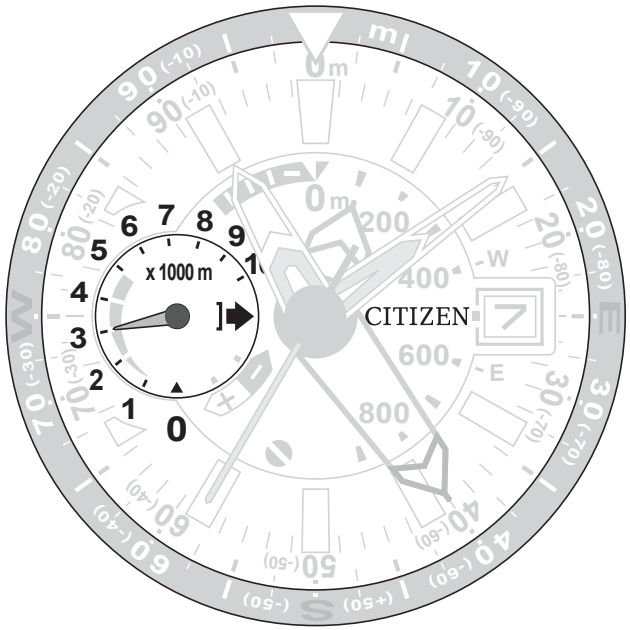
この時計では、最初の5分間は連続して高度測定が行われます。5分経過すると、その後は3分間隔で最大12時間測定を続けます。

高度表示の読みかた

高度は、1000 m針、100 m針、2.5 m針の3つの針で表示されます。

1000 m針とその表示

表示範囲: 1000 m～10000 m
測定高度が、1000 m未満のときは「0」を指します。
右の例では、測定高度が3000 m台と表示されています。



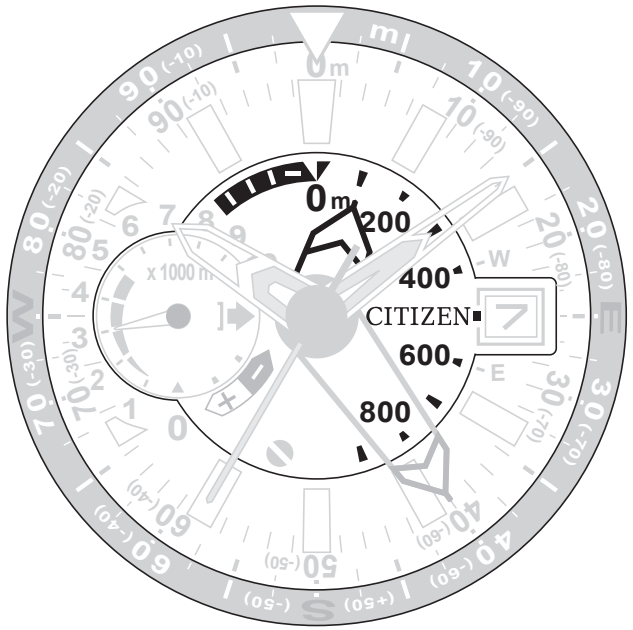
高度表示の読みかた(つづき)

100 m針とその表示

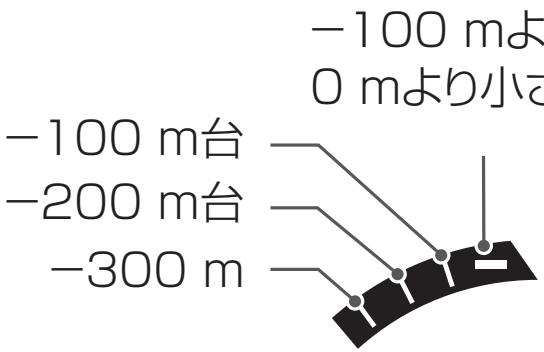
表示範囲: −300 m〜900 m、マイナス表示

測定高度が、0 m以上100 m未満のときは「0」を指します。

右の例では、測定高度が100 m台と表示されています。



マイナス表示について

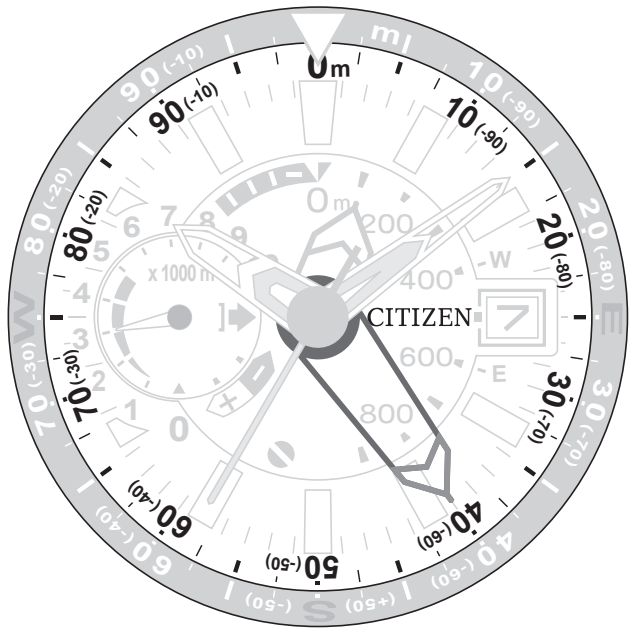


2.5 m針とその表示

表示範囲: −97.5 m～97.5 m

測定高度が0 m未満のときは、100 m針がマイナス表示を指します。このとき、2.5 m針では、( )内の数字を読み取ります。

右の例では、測定高度の下二桁が「40 m」または「−60 m」と表示されています。

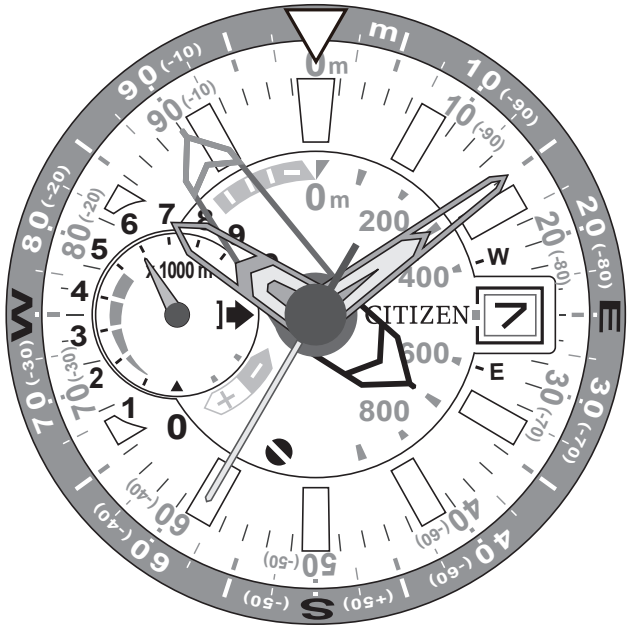


- 測定高度が6000 mを超えると、表示が5.0 m単位になります。
- 時計にスケールがついているときは、2.5 m針が指す場所にスケールの▽マークを合わせておくと、次回の測定高度との差を簡単に知ることができます。

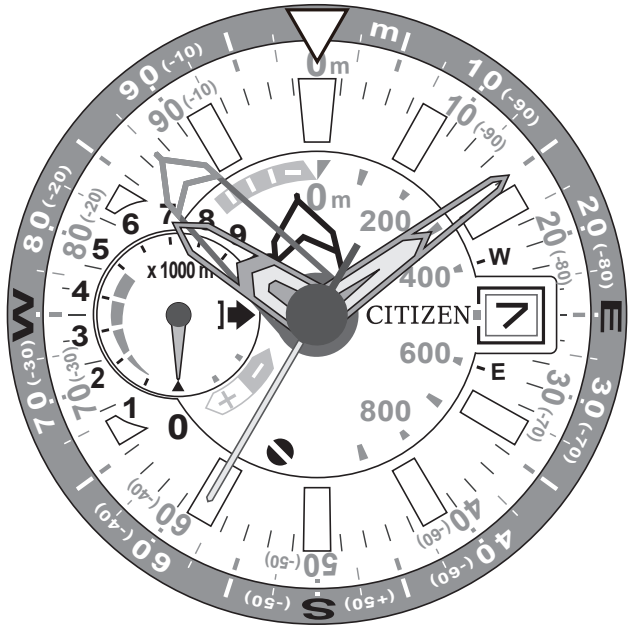
次のページに続く

高度表示の読みかた(つづき)

表示例



測定高度: 6790.0 m

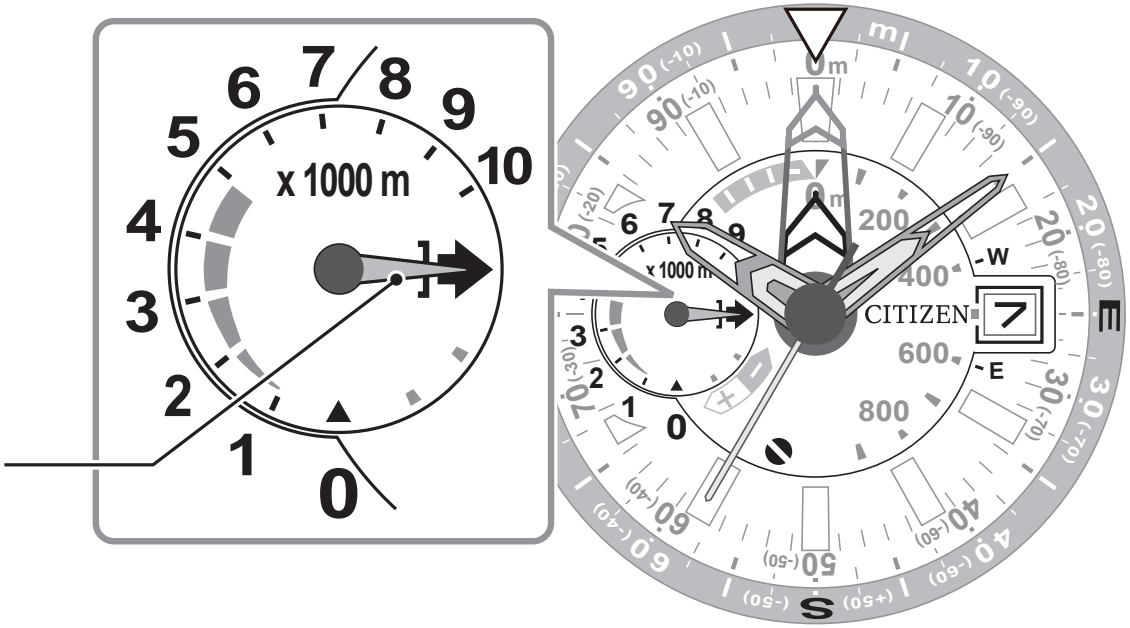


測定高度: −12.5 m

表示可能な範囲にないときは

表示可能な範囲: −300 m〜10000 m

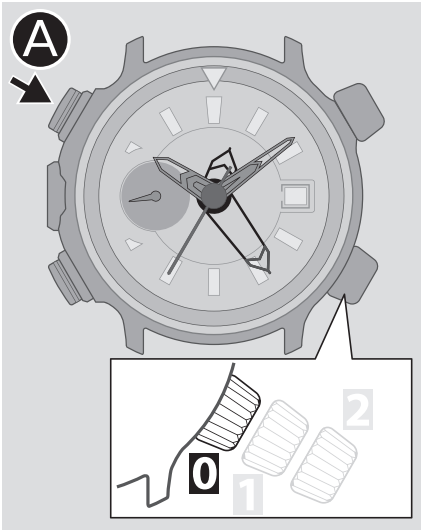
測定高度が表示できないときは、1000 m針が「➡」(3時位置)を指して停止します。



1000 m針が「➡」を指している

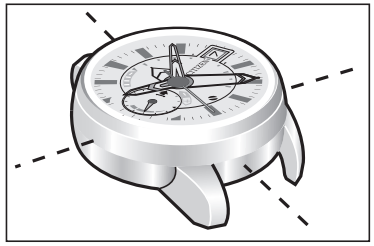
方位をはかる

- 測定結果は目安としてお使いください。
- 精度の高い測定が必要な場合は、市販の専用機器をご利用ください。
- 測定の前に充電量レベルが「2」以上であるかどうか確認してください。



1 時計の文字板を水平に保ち、Ⓐ ボタンを押す

方位測定が開始されます。



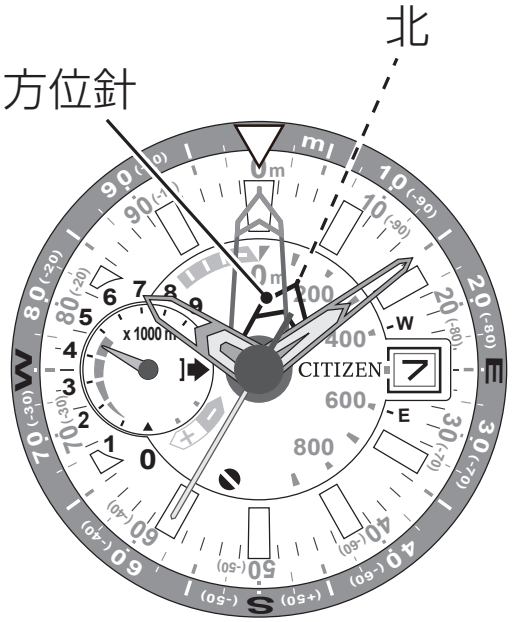
- 方位表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまでお待ちください。
- 終了するまで、時計を水平に保ち、できるだけ動かさないようにします。

2 測定終了後、Ⓐ ボタンを押して終了する

・ボタンを押さなくても、30秒経過すると方位表示は終了します。

方位表示の読みかた

方位針が北を指します。



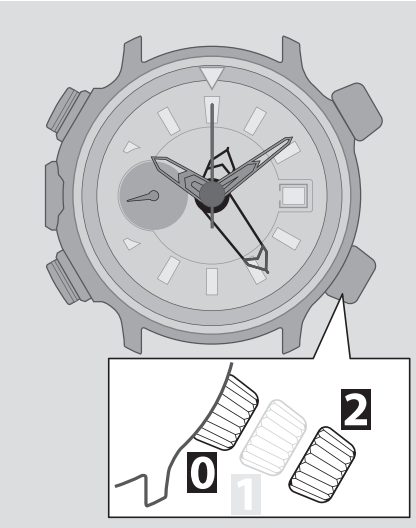
強い磁気を発するものの近くでは、方位測定の結果に大きな誤差が生じる可能性があります。

周辺に次のような場所や物がないことを確認して、方位測定を行ってください。

- 高圧線、電車の架線、飛行場
- 自動車や電車などの車内
- 携帯電話、電化製品、OA機器
- 磁石

こまめに補正(→***32***ページ)を行って、方位測定をすることをお奨めします。

時刻を合わせる



1 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を 2 にする

2 りゅうずを回して、時刻を合わせる

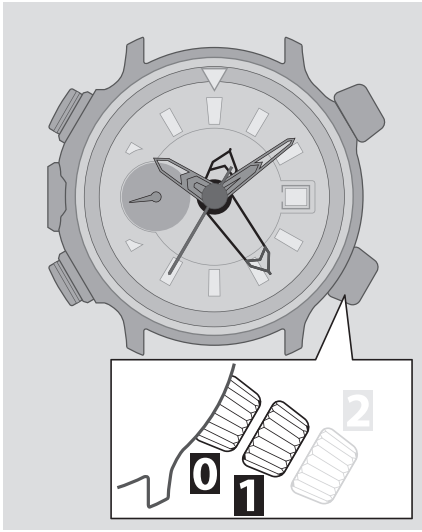
- 午前/午後の違いに注意して合わせます。
- 午後10時を超えると、日表示が1日進み始めます。りゅうずを反時計回りに回しても、日表示は戻りません。

3 時報などに合わせて、りゅうずの位置を 0 にして終了する

カレンダーを合わせる

この時計は、3月、5月、7月、10月、12月の初日にカレンダーを合わせる必要があります。

- 次の時間帯は、この時計の日表示が切り替わるため、カレンダー合わせを避けてください。日表示が正しく切り替わらない場合があります。
  時間帯: 午後10時から午前0時まで



1. りゅうずの位置を 1 にする
2. りゅうずを時計回りに回して、日表示を合わせる
3. りゅうずの位置を 0 にして終了する

高度表示を補正する

高度表示について

この時計では、民間航空機の高度測定に利用される標準大気モデル(ICAO、国際民間航空機関によって定められている)を利用し、気圧センサーで測定された気圧データから高度を算出して表示しています。

標準大気モデルでは、仮想の大気を想定し、圧力、温度、密度、粘性が高度によってどのように変化するかをあらかじめ定めています。

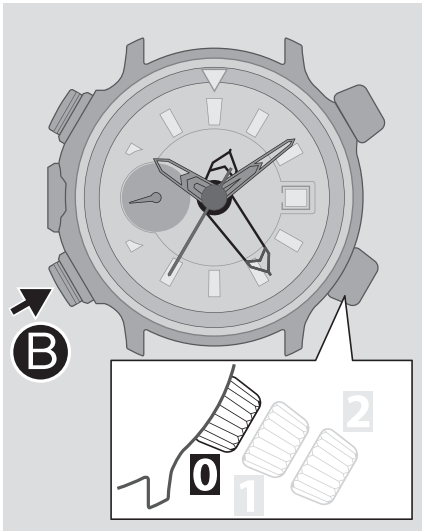
したがって、現実の登山などで天気が著しく変化するときは、想定高度値が大きく異なる場合があります。

この時計では、あらかじめ知られた高度を適宜入力することで、高度表示を補正することができます。

- 補正は、現在の測定高度を基準に±1000 mの範囲で行うことができます。

高度表示を補正する

地図や標識などから実際の高度がわかるときに、時計の測定高度を補正することができます。



1 Ⓑ ボタンを押す

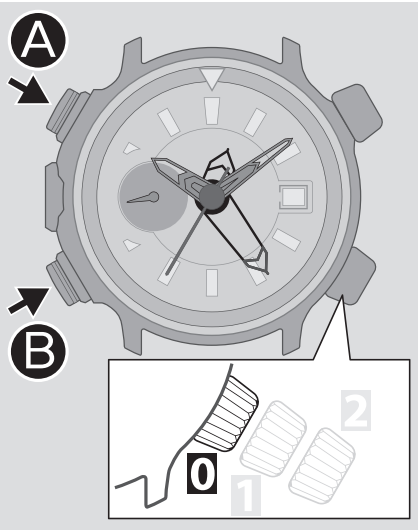
測定高度が表示されます。

- 高度表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまでお待ちください。

2 Ⓑ ボタンを3秒以上押す

1000 m針が「+」を指し、高度表示の補正ができるようになります。

次のページに続く



3 Ⓑ ボタンを押して、+/−を設定する

	実際の高度が、測定高度より大きいときに選びます。
	実際の高度が、測定高度より小さいときに選びます。

- ボタンを押すごとに、「+」と「−」が切り替わります。
- 手順3と4をくり返し、高度の補正値を増減させることができます。

4 Ⓐ ボタンを押して、実際の高度に補正する

100 m針と2.5 m針で、近似の高度を表示させます。

- ボタンを押し続ける間、連続して表示が変化します。
- ⒶボタンとⒷボタン同時に押すと、補正値が初期化されます。

5 Ⓑ ボタンを3秒以上押す

修正した高度が現在の高度とされて、測定高度の表示に戻ります。

- 1分間以上何も操作しないでいても、修正した高度が現在の高度とされて、測定高度の表示に戻ります。

6 Ⓑ ボタンを押して、終了する

方位表示を補正する

方位表示について

この時計の方位測定は、内蔵の磁気センサーにより地磁気を直接測定することで行われます。

地磁気の測定は、磁石や強い電磁波を発するものの近くなどでは、環境による影響を受けやすい傾向にあります。

また、一般的にコンパスが示す北と地図上の北とは、ずれているため、コンパスから地図上の北を知るためには、補正が必要です。

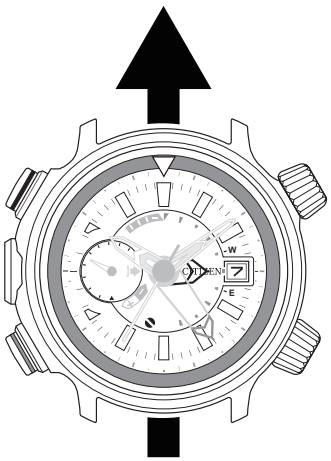
この時計では、2点補正(***34***ページ)と偏角補正(***40***ページ)の2種の補正を行うことができます。

補正後も、方位測定の際は、通常のコンパス同様、強い磁気を発するものが周囲にないよう注意してください。
また、補正中も、そのような環境を避けてください。

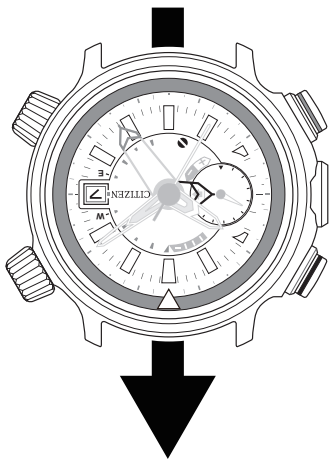
2点補正について

2点補正では、周辺環境に合わせ、時計の状態が調整されます。
気温が大きく変化したとき、時計自体が磁化しているおそれがあるときなどに使用します。
2点補正は、測定の前に行うとより効果的です。

補正1点目



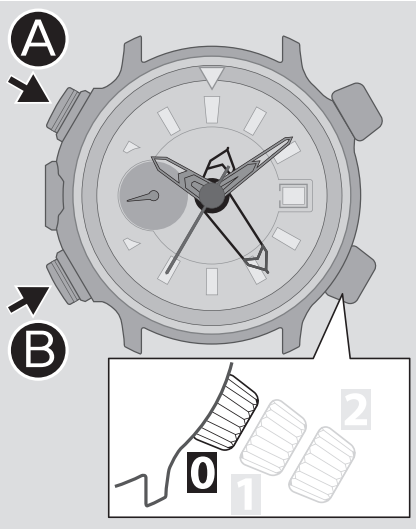
補正2点目
(時計を180°回転させます。)



2点補正を行う

2点補正では、時計の水平を保ちながら、時計を正確に180°回転させる必要があります。補正を開始する前に、周辺の状況にも十分配慮ください。

補正を行う前に、周辺に強い磁気を伴うもの(電化製品、磁石)がないことを確認してください。



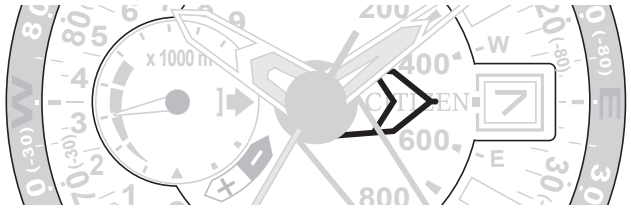
1 Ⓐ ボタンを押す

方位測定が開始されます。

- 方位表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまで、お待ちください。

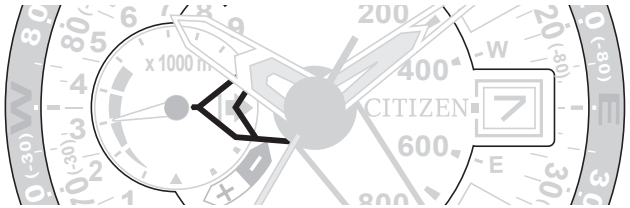
2 Ⓐ ボタンを3秒以上押す

方位針が3時位置を指します。

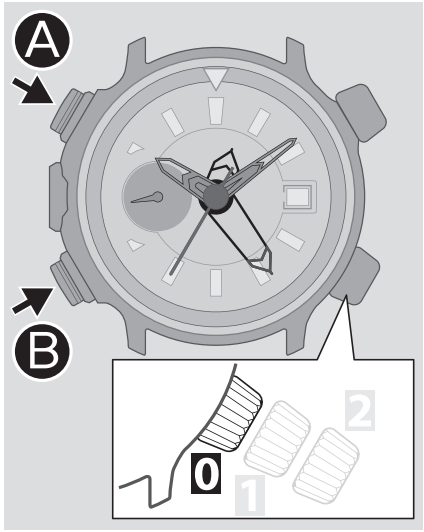


3 Ⓑ ボタンを押す

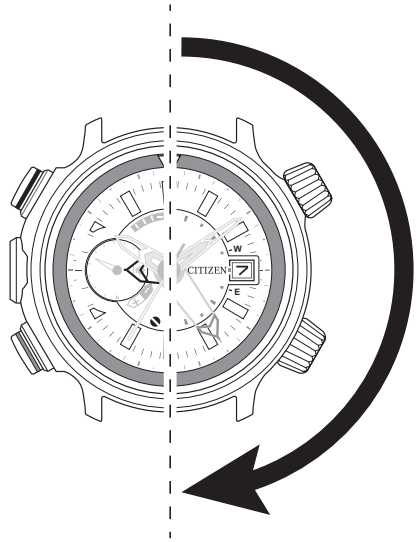
1回目の周辺環境データが記憶され、方位針が180°回転し、9時位置を指します。



次のページに続く



4 時計を180°回転させる



5 Ⓑ ボタンを押す

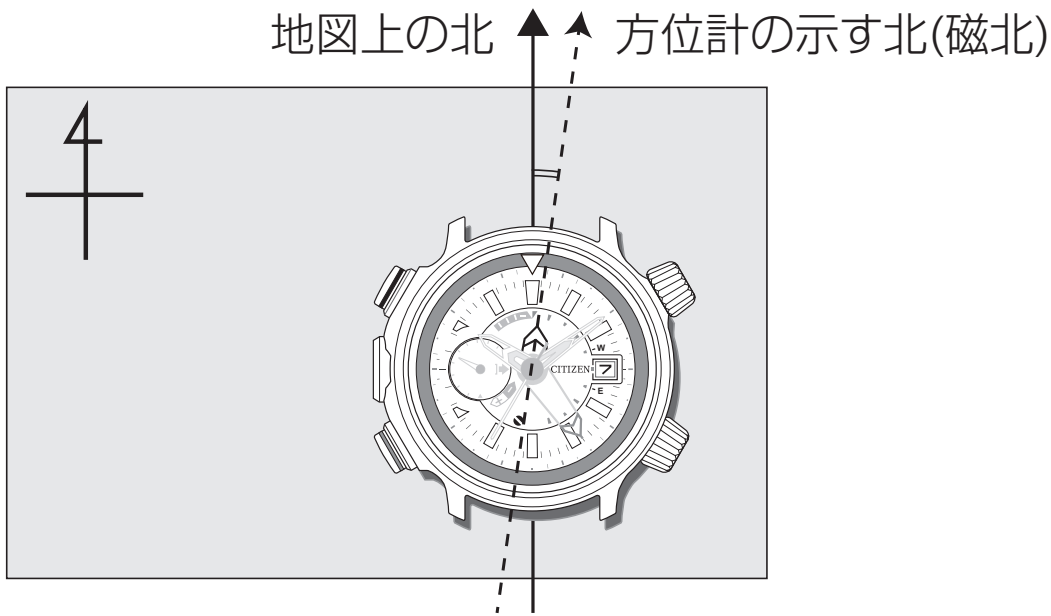
2回目の周辺環境データが記憶され、方位針が12時位置を指します。2点補正が行われ、方位測定が開始されます。

- 方位針が3時位置に戻ったときは、手順3からやり直します。
- 途中でやめるときは、Ⓐボタンを3秒以上押します。この場合、補正は行われず、前回の補正結果が有効になります。
- 手順5を完了する前に、ⒶボタンとⒷボタン同時に押すと、2点補正と偏角補正の値が初期化され、方位測定に戻ります。

6 Ⓐ ボタンを押して、終了する

偏角補正について

天体としての地球の物理的特性により、地磁気が示す北(磁北)と地図上の北(真北)の間には、ずれが生じます。このずれを偏角と言います。偏角は地域により異なります。

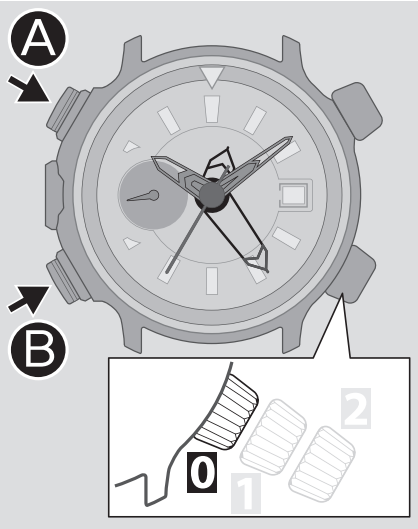


偏角補正とは、方位を測定したい地域の偏角の値をあらかじめ時計に設定しておくことで、方位測定の際に、地図上の北が表示されるようにする補正手段です。

この時計では、東西0°～59°までの偏角を1°単位で設定することができます。

地域の偏角を知るには、政府機関などが公表している地磁気測量の結果を利用することができます。

偏角補正を行う



1 Ⓐ ボタンを押す

方位測定が開始されます。

- 方位表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまで、お待ちください。

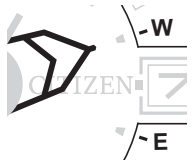
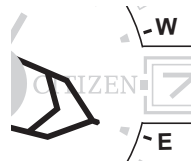
2 Ⓐ ボタンを3秒以上押す

方位針が3時位置を指します。

3 Ⓑ ボタンを3秒以上押す

方位針が東西の設定を指し、2.5 m針が設定した偏角の大きさを秒針の目盛りで示します。

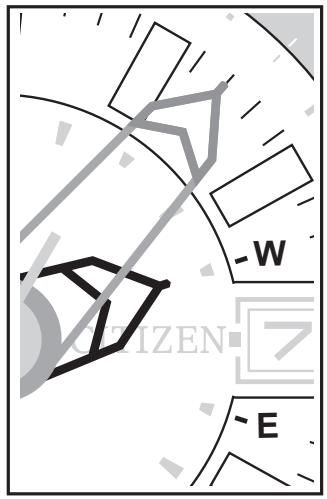
4 Ⓑ ボタンを押して、東西を設定する

	偏角が西側(W)の場合に選びます。		偏角が東側(E)の場合に選びます。

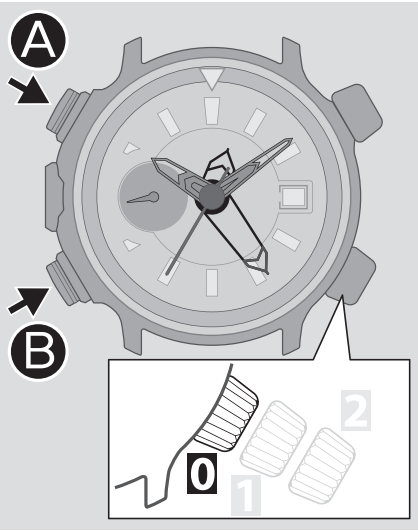
- ボタンを押すごとに、「E」と「W」が切り替わります。

5 Ⓐ ボタンを押して、偏角の大きさを設定する

- 例えば、東京での偏角の大きさは、「西7°」なので、右のように設定します。
- ボタンを押し続ける間、連続して表示が変化します。
- 手順5を完了する前に、Ⓐボタンと Ⓑボタン同時に押すと、2点補正と偏角補正の値が初期化され、方位測定に戻ります。



次のページに続く



6 Ⓑ ボタンを3秒以上押す

偏角の補正が終了し、方位測定が開始されます。

- 方位表示には、時間がかかる場合があります。針の動きが止まるまで、お待ちください。

7 Ⓐ ボタンを押して、終了する

偏角補正と2点補正について

2点補正は、地磁気を確実に捕捉するための手段であり、偏角補正は地磁気そのものの偏差を補正する手段です。両者を適切に行うことで、方位測定をより的確なものにすることができます。

基準位置を確認･修正する

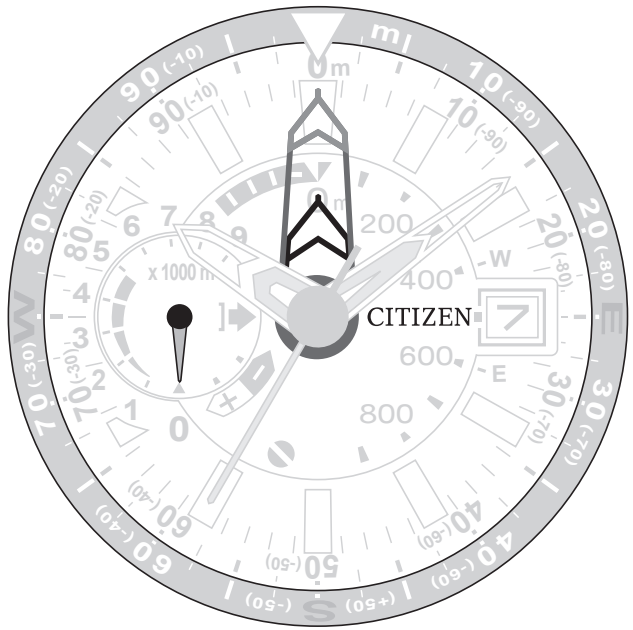
高度測定や方位測定で、補正をしても正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

基準位置とは

針によって高度や方位を表示をするための、基準となる位置のことです。

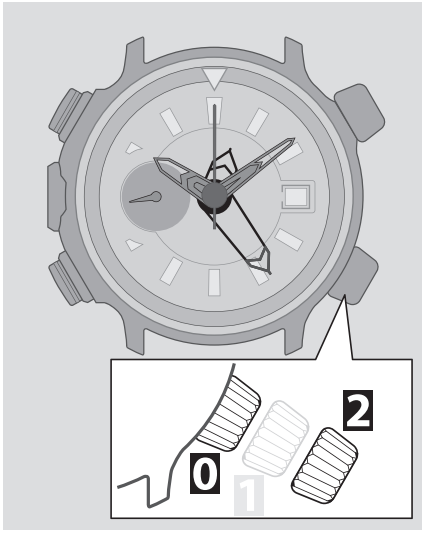
- 1000 m針
  の位置: 6時位置
- 100 m針(方位針)
  の位置: 12時位置
- 2.5 m針
  の位置: 12時位置
- 時針、分針、秒針には基準位置はありません。

正しい基準位置



基準位置を確認する

1000 m針、100 m針(方位針)、2.5 m針の基準位置が正しいかどうか確認します。



1 測定をやめ、充電残量表示を確認する

・充電残量が「2」未満のときは、充電します。

2 りゅうずの位置を 2 にする

各針が基準位置に移動します。

3 基準位置を確認する

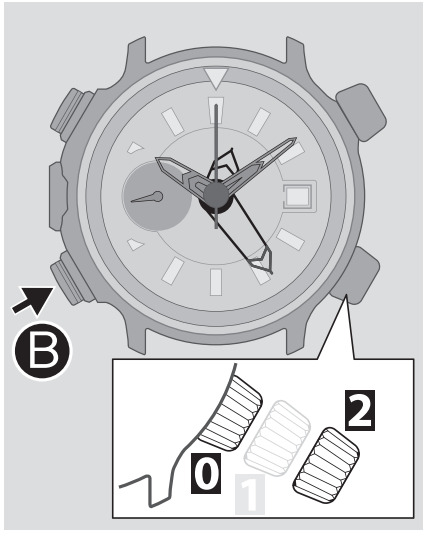
前ページを参考に基準位置を確認します。
正しい基準位置にない場合は、*46*ページ手順3以降で修正します。

4 りゅうずの位置を 0 に して終了する

基準位置を修正する

各針や表示を正しい基準位置を示すように修正します。

・基準位置の修正が終わったら、時刻合わせを行ってください。



1 測定をやめ、充電残量表示を確認する

・充電残量が「2」未満のときは、充電します。

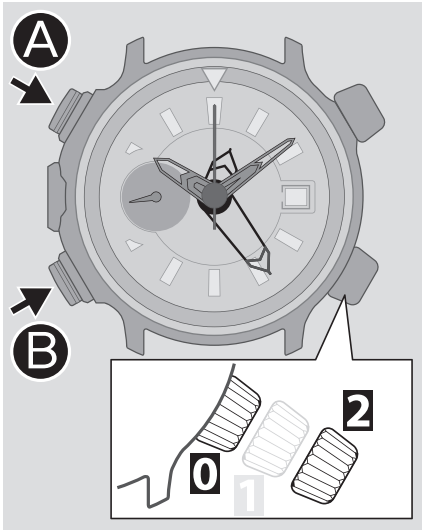
2 りゅうずの位置を 2 にする

各針が基準位置に移動します。

3 Ⓑ ボタンを2秒以上押す

100 m針(方位針)の基準位置の修正ができるようになります。

・100 m針(方位針)と2.5 m針は、他の針の修正の際に、左側にずれます。



4 Ⓐ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、針が1ステップ動きます。

- 押し続けると、連続して動きます。

5 Ⓑ ボタンを押して、針を切り替える

Ⓑボタンを押すごとに、修正対象の針が動き、修正対象をお知らせします。

100 m針(方位針) → 2.5 m針 → 1000 m針 → (はじめに戻る)

6 手順4と5をくり返し、すべての針の基準位置を修正する

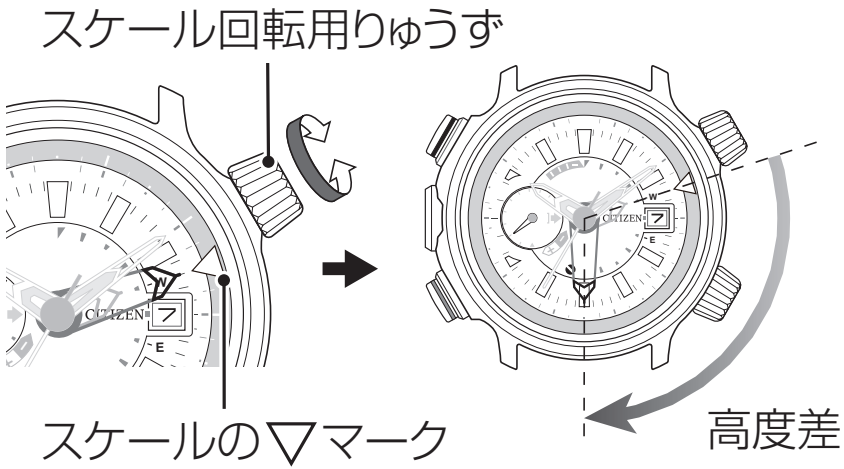
7 りゅうずの位置を 0 にして終了する

スケールの使いかた

・モデルによっては、スケールとスケール回転用りゅうずがない場合があります。

高度差をはかる

2.5 m針の現在の位置に、スケールの▽マークを合わせ、高度差を知ることができます。スケールは、スケール回転用りゅうずで回します。

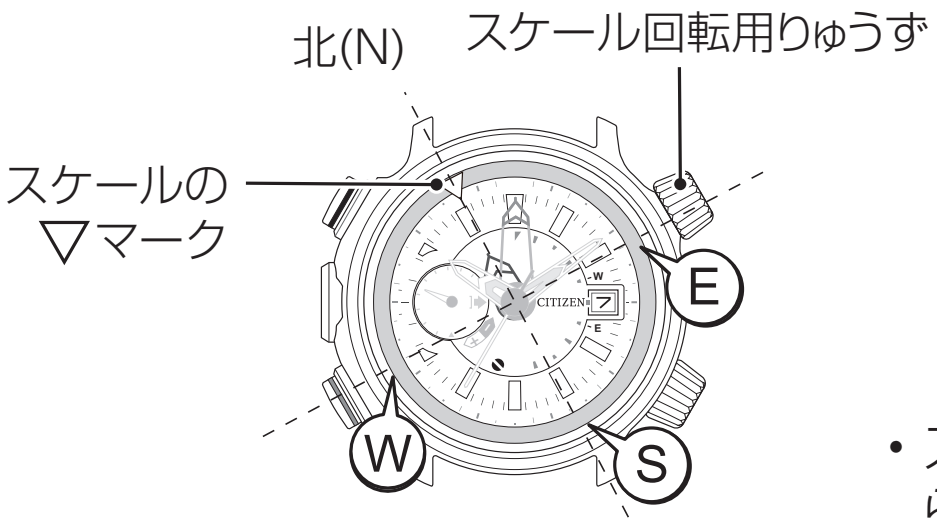


スケールから、−97.5 m ～97.5 mの範囲の高度差を、2.5 m単位で読み取ることができます。

方角を知る

方位針が現在示している位置に、スケールの▽マークを合わせると、北以外の方角を知ることができます。

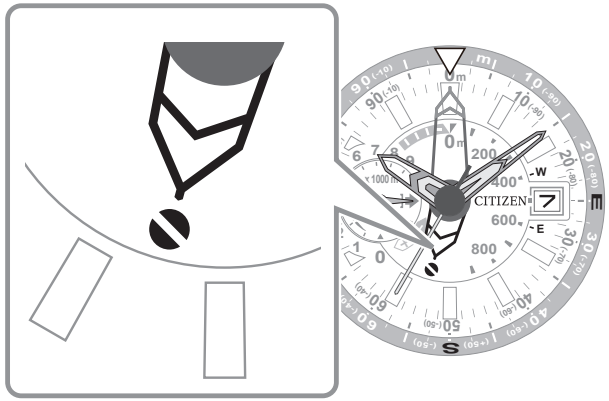
スケールは、スケール回転用りゅうずで回します。

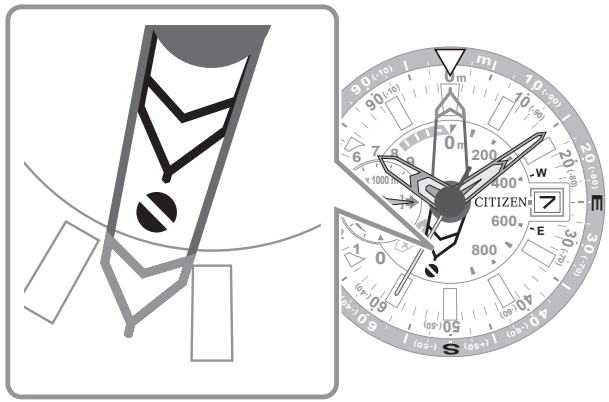


・スケールは、使い終わったら、▽マークを12時の位置に戻しておきます。

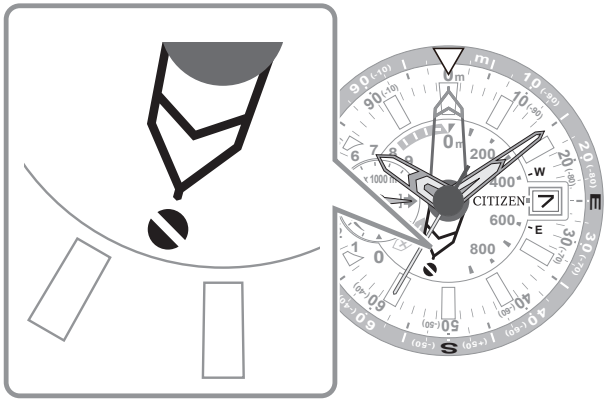
困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

時計の状態	対処方法	詳細ページ
方位測定ができない		
1本の針が「⃠」を指して、動かない 	センサーが異常磁気を検知しています。 磁気が落ち着いた場所で再測定してください。 改善されない場合は、「シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係」に修理をご依頼ください。 • 時刻表示に戻すには、どちらかのボタンを押します。	***24、78***

時計の状態	対処方法	詳細ページ
高度測定や方位測定ができない		
2本の針が「⊘」を指して、動かない 	測定機能に問題が発生しています。 「シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係」に修理をご依頼ください。 • 時刻表示に戻すには、どちらかのボタンを押します。	*78*

次のページに続く

時計の状態	対処方法	詳細ページ
2点補正ができない		
1本の針が「⊘」を指して、動かない 	方位針の2点補正が正常に行われていません。 2点補正を最初からやり直してください。 • 時刻表示に戻すには、どちらかのボタンを押します。何も操作しないで30秒経過しても、時刻表示に戻ります。	*34*

時計の状態	対処方法	詳細ページ
針の動きがおかしい		
針が勝手に動いている	高度測定や方位測定をやめる	*18*、*24*
高度の表示がおかしい	基準位置を確認･修正する	*44*
	高度補正を行う	*28*
方位の表示がおかしい	基準位置を確認･修正する	*44*
	方位補正を行う	*32*

時計の状態	対処方法	詳細ページ
針の動きがおかしい(つづき)		
秒針が2秒ごとに動く	充電する	*12*
秒針が動かない	りゅうずの位置を **0** にする	–
	直射日光で1時間程度の充電が必要です。	*12*
充電残量が確認できない	りゅうずの位置を **0** にする	–
	高度測定をやめる	*18*
	高度補正をやめる	*28*
	方位補正をやめる	*32*

時計の状態	対処方法	詳細ページ
カレンダーがおかしい		
日表示が正しくない	カレンダーを合わせる	*27*

時計をリセット(オールリセット)して、初期の状態に戻すことができます。

オールリセットを行うと、次の値が初期値に戻ります。

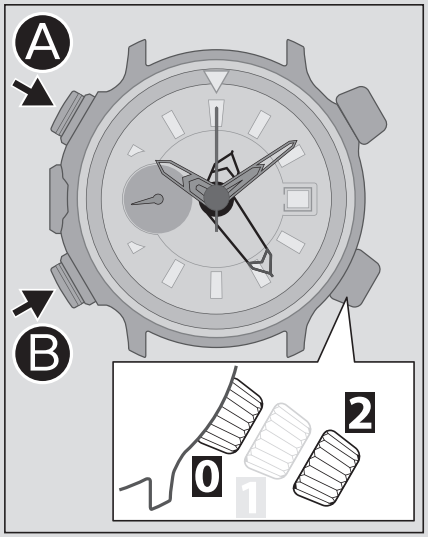
- 高度測定の補正値
- 2点補正の補正値
- 偏角補正の補正値

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1. 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。*46*ページの手順3以降をご覧ください。

2. 時刻・カレンダーを合わせる



1 測定をやめ、充電残量表示を確認する

・充電残量が「2」未満のときは、充電します。

2 りゅうずの位置を 2 にする

1000 m針、100 m針(方位針)、2.5 m針が現在の基準位置に移動します。**すべての針が止まるまで、操作しないでください。**

3 Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に4秒以上押す

ボタンから手を離すと、各針が動き、リセットが行われたことをお知らせします。

エコ・ドライブ（光発電）取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

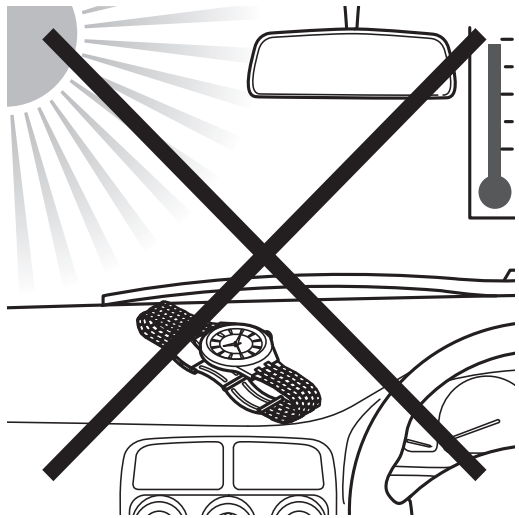
■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60 ℃以上）での充電は避けてください。

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
  白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

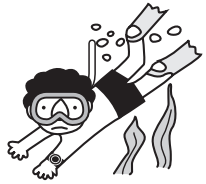
防水性能について

⚠ 警告　防水性能について

- 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1barは約1気圧に相当します）
- WATER RESIST（ANT）×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	−	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使用例				
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	 スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
  時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。
  また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
- 腐食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき

・お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

＜温度について＞

・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜磁気について＞

・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

・クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ･かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
  汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース･ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド･プラスチックバンド･ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗･汚れ･水分などを良く拭き取り、高温･低温･多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

その他の情報

高度計の基本情報

測定可能範囲	−300 ～ 10000 m	精度保証温度	-20 ℃ ～ 40 ℃
計測表示単位	6000 m未満: 2.5 m 6000 m以上: 5.0 m	保証精度	±(高度補正を行った地点からの高度差 x 2% + 15) m

- 保証精度は、高度補正後の温度が一定である場合です。
- 保証精度は、高度補正を行った地点からの高度差に対する精度であり、実際の高度に対するものではありません。
  例: 高度500 mで高度補正を行った場合の高度700 mにおける誤差範囲
  (700 − 500) x 2% + 15 = 19 より、保証精度は±19 m、誤差範囲 681 ～ 719 m となります。

高度補正の参考表

参考までに、高度0 mで高度補正を行った場合の、各高度における保証精度と誤差範囲を示します。

高度 (m)	保証精度 (m)	誤差範囲 (m)
−100	±17	−117 ～ − 83
0	±15	−15 ～ 15
100	±17	83 ～ 117
1000	±35	965 ～ 1035
5000	±115	4885 ～ 5115
10000	±215	9785 ～ 10215

方位計の基本情報

精度保証温度	-20 ℃ ～ 40 ℃	保証精度	±10°

・保証精度は、2点補正後の温度が一定である場合です。

方位が測定しにくい地域について

次のページの地図上でパターン表示されている領域では、地磁気の特性により本機の方位計精度を保てなくなる場合があります。
方位測定を行う際は、地域を確認の上ご利用ください。

方位計測が困難な地域(パターンの領域)

保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	J280	型式	アナログソーラーパワーウオッチ
時間精度	平均月差±15秒　常温(+5℃～+35℃)携帯時		
作動温度範囲	−20℃～+60℃		
表示機能	• 時刻: 時·分·秒 • カレンダー: 日 • 充電量: 4段階		
持続時間	• 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで 約11ヶ月 • 充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約4日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池)　1個		

付加機能	• 光発電機能 • 充電量表示機能(4段階表示) • 過充電防止機能 • 充電警告機能(2秒運針) • 高度計測機能 • 高度補正機能 • 方位計測機能 • 方位補正機能 • 高度/方位表示針基準位置確認･修正機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

HAE06

http://citizen.jp/

Cal.J280